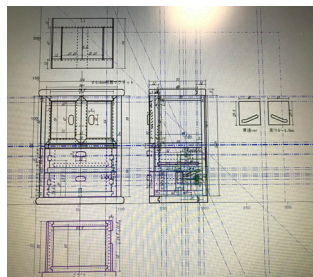


第13回 からくり箱アイデアコンテスト入賞作品

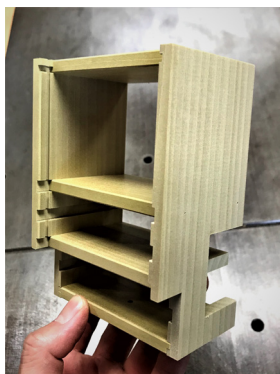
『からくりたんす』ができるまで

発案者：今井慎

制作責任者：川島英明



1. 製図ソフトで作図をし、試作をしてから作り始めます。



2. 中心の構造。仕掛けが入る部分を切り欠きます。(右下の凹み)



3. 「鍵の板」小さいけれど大事な仕掛けです。



4. 溝の加工精度が大事なのでCNCルーターという加工機で彫りました。



5. 観音扉の部品。鏡板(左右の板)は木目が繋がるようにしています。



6. パーツ管理のために勝手墨と呼ばれる数字を書き込みます。最終的に削って無くなります。



7. ツミは小さすぎて手加工が難しかったのでCNCルーターに活躍してもらいました。



8. 裏から見たツミ。2つの凸で板に固定します。小さな凹みは手掛けのつもり。



9. 引き出しや観音扉を仕込んだ状態。



10. ツミを接着し、塗装屋に持っていきます。



11. 引き出しの仕掛けの解説です。上の引き出しは「鍵の板」が邪魔して引き出せません。



12. 下の引き出しを押し込むと「鍵の板」が動き、上の引き出しが動かせようになります。